

システム情報工学研究科修士論文概要

年 度	平成 22 年度	学位名		修士(ビジネス)
専 攻	経営・政策科学	専攻	著者氏名	岩崎 惇
指導教員氏名 岡田 幸彦				
論文題目 <div style="text-align: center;">制度的サービスの生成論理に関する研究 ーわが国外部監査サービスの生成から監査法人の設置に至るまでの文献史的研究から</div>				
論文概要 <p>近年わが国では、サービス・イノベーションによるサービス産業の生産性向上の必要性が叫ばれているが、サービス・イノベーション研究の基礎となるサービス開発論は研究途上にあり、その理論が確立されるに至っていない。そのような中、岡田[2010]は「成功するサービス」を生み出しているわが国サービス組織について、そのサービス開発の論理を整理・体系化した。しかし、社会システムの一部として円滑に機能することが求められる制度的サービスの開発プロセスに関する研究はいまだなされていない。そこで本論文では、わが国における制度的サービスの主要産業である外部監査サービスに注目した。</p> <p>本論文では、岡田[2010]が提示するサービス開発の基本フレームを用いて外部監査サービスの生成過程の整理を試みた。つまり、コンセプト創造段階、機能設計段階、詳細設計段階、キャパシティ構築段階、生産・提供段階という 5 つの段階ごとに、監査サービスの生成に関する議論を整理することで、いつ・誰の・どのような議論を経て、サービスの形が決まっていたのかを明らかにしようとしているのである。</p> <p>そのようにして、わが国外部監査サービスの生成過程及びサービス進化の過程の全体像を明らかにした上で、考察として、制度設計における仮説検証のための測定フレームの必要性を指摘した。さらに、制度設計において特に考慮すべきこととして(1)諸外国における先行例の検討、(2)コンセプト創造段階における公共性の視点、(3)機能設計段階における法整備、(4)サービス提供の試験的導入の 4 点について論じた。</p>				
審査日 平成 23 年 2 月 4 日				
審査員 (大学名 職名) (学位) (氏名)				
主査	筑波大学 准教授	Ph.D.in Organizational Behavior	渡辺 真一郎	
副査	筑波大学 准教授	博士(商学)	岡田 幸彦	
副査	筑波大学 教授	Ph.D.in Management, 理学博士	住田 潮	